

乳幼児期の歯科保健指導

福岡県内の1.6歳児と3歳児のおし歯本数とおし歯有病率は、減少し改善がみられますが全国平均より多い状況です。また、市町村格差が見られる現状でもあります。その状況を変えていくのが、私たち歯科衛生士の役割です。

乳幼児健診では、保護者への適切なアドバイスが求められています。日頃より乳幼児期の歯科保健指導に関わっておられる方はもちろん、これからやってみたいという方にも、知っていただきたい内容です。ぜひご参加ください。

「歯科衛生士に求める歯科保健指導」

福岡市立こども病院 小児歯科 科長 柳田憲一先生

「乳幼児を持つ保護者の現状について」

～育児に対する保護者の不安を知り、地域の保健指導に活かそう～

福岡市城南区保健福祉センター 臨床心理士 内田さやか先生

日 時： 2019 年 11 月 10 日（日）

10：00～13：00

（受付 9：30～）

場 所： 福岡県歯科医師会館 5F 視聴覚室
（福岡市中央区大名 1-12-43）

定 員： 80 名

受講料： 歯科衛生士会会員 1,500 円
会員外 6,000 円

申し込み締切：10 月 25 日（金）

※申し込み方法は別紙の『福岡県歯科衛生士会研修会申込方法』をご参照ください。

